

2019年4月1日～2023年3月31日の間に 周術期外来を受けられた方及びご家族の方へ

— 「周術期外来対応症例と周術期外来非対応症例からみる

手術中止症例や術後合併症発生症例の比較」 へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学附属病院 看護部 中央手術室 佐野桃香
研究分担者 川崎医科大学附属病院 看護部 中央手術室 遠部右子
川崎医科大学附属病院 看護部 中央手術室 家守由香里

1. 研究の概要

呼吸器外科、消化器外科、整形外科の手術を受けられる方に周術期外来を行っています。評価項目として術後の嘔気嘔吐、術後せん妄、深部静脈血栓症、術後疼痛、皮膚障害等の発生リスクを予測しています。

この調査で、周術期外来を受診することによって周術期合併症の発生率に差があるのか明らかにし、今後の介入方法の改善につなげたいと考えています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2019年4月1日～2023年3月31日の間に川崎医科大学附属病院で周術期外来を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2027年3月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において周術期外来を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに手術前から手術後に関する分析を行い、周術期合併症の発生率や因子について調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、家族歴、病歴、治療歴、手術後の合併症の発生状況 等

5) 外部への情報の提供

この研究に使用する情報は、外部には提供しません。

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学附属病院中央手術室で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2026年12月27日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 看護部 中央手術室

氏名：佐野桃香

電話：086-462-1111 内線 26140（平日：9時00分～17時00分）

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用、利益相反はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。